



独立行政法人
大阪府立
環境農林水産総合研究所

プレスリリース

豊かな自然 心かよふ溢りのまち“みさき”



Misaki town

(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所

おおさか気候変動適応センター

担当：高井、今立 TEL：072-979-7062

岬町 総務部企画地方創生課

担当：多田 TEL：072-492-2775

令和2年10月2日 14:00

大阪科学・大学記者クラブ

関西国際空港記者会

会員各位

**岬町立多奈川小学校の児童が「ちびっこ自然観察隊」として、
気候変動のデータ収集に協力します！
＝令和2年度環境省委託事業「国民参加による気候変動情報収集・分析委託事業」＝**

ようやく秋の声が聞こえてきましたが、この夏も大変厳しい暑さが続きました。私たちの身の回りでは「これまでの季節感とは違ってきた」、「経験したことのない気象現象が発生するかも」と感じる機会が増えてきたのではないのでしょうか。

この度、「おおさか気候変動適応センター」では、自然観察を通じて、気候変動の影響が身近ですでに起こっていることを体感してもらうプログラムを実施します。このプログラムは、環境省の委託事業を活用して、岬町及び日本ビオトープ管理士会近畿支部のご協力を得て実施するものです。

1 日 時 令和2年10月14日（水）9：00～10：30

2 場 所 多奈川ビオトープ（大阪府泉南郡岬町多奈川地区 多目的公園内）

3 プログラム 観察隊は、岬町立多奈川小学校の遠足の一環として、1～6年生14～15名と教員からなる2班で構成しています。

- ・多奈川ビオトープの虫や植物を発見するビンゴゲームを実施します。
- ・日本ビオトープ管理士会近畿支部の専門家が、虫や植物に関する小学生の疑問に答えます。
- ・発見した虫や植物は、おおさか気候変動適応センターが気候変動の影響を分析するための基礎データとして活用します。

4 注意事項 取材をご希望の場合は事前に連絡ください。

※多奈川ビオトープ

関西国際空港二期事業土砂採取跡地に整備された多目的公園の一角に、約2.5haの「多奈川ビオトープ」があります。ここでは、かつてここに暮らしていた生き物たちを呼び戻そうと、生育・生息場所となる湿地や草地の創出や維持管理、もともとこの場所に生育していた樹木の植栽などの「自然再生」の取組が行われています。





写真提供：日本ビオトープ管理士会近畿支部
(写真上：過去の観察会の様子、写真下：マイコアカネ)